



ながら SDGs 通信 第 22 回 ながらグリーンツーリズムと SDGs



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

SDGsの「目標 11. 住み続けられるまちづくりを」には、都市と農村の良好なつながりの支援が盛り込まれています。都市と農村のつながりとは、都市に農村の魅力を発信し、都市住民を呼び込んで交流を促し、消費拡大や移住定住に結びつけることといえます。

都市と農村の良好なつながりの例として、長柄町が平成 16 年から取り組んでいる都市農村交流（ながらグリーンツーリズム）が挙げられます。ながらグリーンツーリズムは、都市住民に稲刈りや野菜・果物の収穫、味噌づくりなどの農業体験を通じて、自然と触れ合う機会や人々との交流の場を提供しています。都市住民を受け入れる長柄町は、田畑の活用による環境の保全（目標 15）や、消費による産業振興（目標 9）にも効果があります。

このように、ながらグリーンツーリズムは都市と地方の双方にメリットのある取組であり、今後もさまざまな体験を通じて長柄町の魅力や価値を提供していくことが期待されます。

（参考）農林水産省「都市と農村のつながりの強化」